

研修目標と研修内容について

職種名「作業療法士レジデント」

1 概要

がんの進行やその治療の過程で生じた移動・身のまわりの動作・コミュニケーションなどの障害に対して、作業療法士（OT）の業務に必要な知識と基本的技術の習得を目指し、がん医療に精通したリハビリ技士の養成を目的とする

2 研修での到達目標

1) 一般目標

がんに対する作業療法全般に関する基本的技術の習得

2) 行動目標

下記知識・技能の習得を目標とする

- ・ 乳がん術後の肩関節運動障害や術後のリンパ浮腫に対する専門知識と技能の習得
- ・ 婦人科がんのリンパ浮腫に対するがん専門知識と技能の習得
- ・ 頭頸部がん頸部リンパ節郭清後の肩甲周囲の運動障害に対する治療介入
- ・ 脳腫瘍による片麻痺、高次脳機能障害等に対する専門知識と技能の習得
- ・ 脊髄・脊椎腫瘍による四肢麻痺、対麻痺に対する専門知識と技能の習得
- ・ 骨・軟部腫瘍術後（患肢温存術後、四肢切断術後）に対するがん専門知識と技能の習得
- ・ 骨転移に対するがん専門知識と技能の習得
- ・ 小児科がんに対する専門知識と技能の習得
- ・ がんそのもの、もしくは治療の過程でもたらされる神経障害に対する専門知識と技能の習得
- ・ がん治療の過程で生じた全身性の機能低下、廃用症候群に対する専門知識と技能の習得
- ・ 終末期における QOL 維持のための支援・指導 など。

3 実習方法

以下の形式にて、1 年目は主に、がん専門病院における作業療法の基本的技術を習得するとともに、種々の勉強会や院内カンファレンスへの参加、チーム医療などについて、がんのリハビリテーションの基礎を学ぶ。

2 年目は主に、病棟やリハビリ室における業務などを通じてがん医療の臨床経験を積むことにより、がん専門リハビリテーション技士に必要とされる知識や技能を習得する。

a) 日常業務を通じた研修

研修指導者の受け持ち患者を通じての直接指導。

b) 講義やカンファレンスへの参加を通じた研修

がんに関する基礎知識、がんのリハビリテーション、専門領域に対する勉強会など。